

災害医療・薬事対応に関する研修プログラム
(令和6年度厚生労働省事業)

【プログラム概要】

災害医療において、被災地の薬局・薬剤師及び被災地支援を行う薬剤師が理解しておくべき 通常医療との違い等の基本的知識について学習する				
コンテンツタイトル	前/後編	項目	目標	講師
災害医療・薬事対応の基本 1	【前編】 [講義時間] 39 : 02	①災害とは	○災害の種類・定義を知る ○被災地のイメージが出来る	兵庫医科大学 危機管理医学講座 特任助教 渡邊 暁洋
		②災害医療とは	○平時と災害時の医療の違いを知る	
		※本項の14分35秒～15分43秒までの約1分間（スライド19枚目、20枚目）について、講師の強い希望により、実際の災害時傷病者の写真が多数使用されています。研修の性質上、コンテンツ早送り等はできません。ショックを受ける方もおられると思われるため、予めお伝えいたします。		
		③災害医療提供体制	○災害対応の根拠を知る ○災害医療提供体制を知る	
	【後編】 [講義時間] 1 : 04 : 43	④災害対応機関・組織・団体	○災害時に対応する機関や組織・チームを知る	
		⑤災害対応（支援・受援）とは	○「支援」と「受援」の違いを知る ○災害対応における基本原則と心理的反応を知る	
		⑥災害対応の基本（準備・対応・復興復旧）	○過去の事例を通してフェーズに応じた災害対応の基本を知る	
		⑦災害支援における活動原則（共通言語）	○CSCATTT／CSCAPPPを知る ○個人での活動原則を知る	
	⑧災害医療の教育・研修会	○災害時の役割に応じた知識と研修会を知る		
災害医療・薬事対応の基本 2	【前編】 [講義時間] 47 : 31	①災害対応の根拠と制度（災害医療提供のための法制度等）	○我が国の災害医療提供のための法制度を理解する ○災害救護活動のフェーズと他職種連携・支援体制について説明できる ○災害時の医療救護活動のフェーズ（超急性期～慢性期）と薬事対応について理解できる ○災害周期の変化に対応しながら多職種、多機関と連携・協働の上、薬事ケアの提供を継続する必要性を理解できる	福岡大学薬学部 救急・災害医療薬学 研究室 教授 江川 孝
		②災害時における薬剤師の役割（臨床：災害時の調剤等）	○災害支援薬剤師が確立するCSCAを説明できる ○保険処方箋と災害処方箋の違いを説明できる ○災害時の調剤の場所を説明できる ○救護所の仮設調剤所での活動を実践できる ○被災病院での薬事支援を実践できる	
		③災害時における薬剤師の役割（公衆衛生：避難所での対応等）	○災害支援薬剤師が確立するCSCAを説明できる ○避難所の種類や運営に係わる部署を挙げられる ○避難所生活での問題点を列挙できる ○スフィア基準の基本理念を説明できる ○災害関連死を防ぐTKBについて説明できる ○避難所の環境維持に必要な検査項目を列挙できる ○学校環境衛生基準を指標に適切な助言ができる	
	【後編】 [講義時間] 39 : 46	④災害時における薬剤師の役割（災害薬事コーディネーター）	○災害薬事コーディネーターが確立するCSCAを説明できる ○急性期に被災状況を把握する項目を列挙できる ○災害薬事コーディネーターの定義を説明できる ○保健医療福祉調整本部での活動を説明できる ○地域保健医療福祉調整本部での活動を説明できる	
		⑤災害時の薬剤師の役割（薬剤師会・病院薬剤師会）	○薬剤師会が確立するCSCAを説明できる ○災害の現状分析と活動目標を立てることができる ○災害支援に関する情報管理と資源管理ができる ○不確実な災害状況に対応するための意思決定ができる ○支援者の「心のケア」について組織として対応できる ○過去の災害での薬剤師会の活動を知る	
		⑥災害に備える業務持続計画（BCP）	○事業継続計画（BCP: Business Continuity Plan）について説明できる ○BCPと災害対策マニュアルの相違について説明できる ○業務継続マネジメント（BCM: Business Continuity Management）の重要性を理解できる ○BCP作成のための重要ポイントを列挙できる ○地域持続計画（District Continuity Plan: DCP）について説明できる	
		⑦災害時の災害対策マニュアル	○災害対策マニュアルとBCPの相違について説明できる ○災害対策マニュアルのコンセプトを説明できる ○マニュアルの改訂ポイントを説明できる	
		⑧おわりに		